

第1回高専GIRLS SDGs × Technology Contest

＼ 高専GCON2022 ／

2022年、高専制度60周年記念として、高専女子を主体とした新しいコンテストが始まります。
SDGsやイノベーション、女性技術者・研究者のキャリアについて学ぶ、またとない機会を提供します。
未来へと羽ばたく一歩を、ここで踏み出してみませんか。

◆ 募集テーマ ◆

SDGsを中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた 技術開発・アイデアの提案

- 高専生が日頃行っている研究や学習を基にしており、SDGsの観点から社会課題解決に貢献できる提案
- 実現可能性・新規性・独自性があり、これまでなかったような新市場、ビジネスチャンスにつながる課題解決への情熱ある提案
- 女性が活躍できる社会実現に向けた提案を推奨

◆ 審査基準 SDGsへの理解 イノベーション視点 実現可能性 プレゼンテーション(本選のみ)

◆ スケジュール

エントリー締切り
2022年10月6日(木)

本選

2023年1月15日(日)

会場：日経ホール(東京・大手町)

※本選の様子は日本経済新聞社の映像ポータル「日経チャンネル」
(<https://channel.nikkei.co.jp/>)でライブ配信

詳細・エントリーはコチラ! <https://gcon.kosen-k.go.jp/> >>



高専GCON2022協賛社 2022年7月8日現在

Nitto
Innovation for Customers

日東電工

IING

アイング

JFE

JFEスチール

SoftBank

ソフトバンク

TOYOTA

トヨタ自動車

AGC

AGC

SIOS

サイオステクノロジー

主催:独立行政法人国立高等専門学校機構 共催:日本経済新聞社 協力:(社)アンカー、高専キャリア教育研究所、リハネス

後援(予定、申請中含む):内閣府、文部科学省、(独)国立女性教育会館、(社)全国高等専門学校連合会、(社)日本機械学会、(社)日本ロボット工業会/FA・ロボットシステムインテグレータ協会、

(社)日本ディーラーニング協会、日本女性技術者フォーラム(JWEF)、特定非営利活動法人Waffle

GCON
Twitter >>



第1回高専GIRLS SDGs × Technology Contest (高専GCON2022)とは?

高専女子が日ごろの研究や演習の成果を生かし、SDGs(持続可能な開発目標)の達成や社会課題の解決に貢献するアイデアを競う「第1回高専GIRLS SDGs × Technology Contest(GCON)」。

高専制度60周年を記念し創設された本コンテストでは、SDGsやイノベーション創出を学ぶオリエンテーションを実施。参加を通じて高専女子のキャリア育成を体験できます。東京・大手町の日経ホールで開催される本選は、日経チャンネルでの配信を予定。みなさんの参加をお待ちしています!

◆ GCON2021チームの紹介

 <p>最優秀賞</p> <p>鈴鹿工業高等専門学校 SUZUKA DRIVERS</p> <p>三重県の名産品を知って 観光名所を駆け巡る 地方創生スマホゲームアプリの開発 ~MIE IKONI CIRCUIT~</p>	 <p>優秀賞</p> <p>奈良工業高等専門学校 MINA-SIYA</p> <p>Cloudによる音声化・翻訳 読み取った情報をCloudに飛ばし、 Cloudで音声情報に変換してサングラスに伝達!</p> <p>かけるだけで 新時代にきた気分!? AI機能搭載 サングラス型カメラ</p>	 <p>優秀賞</p> <p>群馬工業高等専門学校 ネルンストに魅せられて</p> <p>持続可能なエネルギー 緑炭・水素 水素ガス 水素ガスは燃焼してエネルギー のみを生み出す。</p> <p>1.23V電圧下での 水の電気分解</p>
---	---	---

◆ スケジュール

STEP1.学ぶ	STEP2.創る	STEP3.発信する
01 オリエンテーション 8月中旬~9月下旬	02 エントリー締切り 2022年10月6日(木)	03 選考→本選進出チーム選出 11月下旬
04 本選 2023年1月15日(日)		

Society5.0社会に向けたSDGs探求、イノベーションの発想、女性技術者・研究者のキャリア等について、高専生が課題への取り組み、自身のキャリアを考えるきっかけなどの気づきになる場を提供します。
※詳細は、GCONのホームページをご覧ください

書類、面談審査で8~10チームを選出

会場:日経ホール(東京・大手町)

※本選の様子は日本経済新聞社の映像ポータル「日経チャンネル」(<https://channel.nikkei.co.jp/>)でライブ配信

◆ 審査項目

SDGsへの理解	イノベーション視点	実現可能性
<input checked="" type="checkbox"/> 提案内容とSDGsのゴール、ターゲットとの結びつきの確か	<input checked="" type="checkbox"/> これまでに無い新市場、ビジネスチャンスにつながる提案などの新規性	<input checked="" type="checkbox"/> 先行研究/事例の把握、技術的な課題と解決に向けた裏付けの的確性
<input checked="" type="checkbox"/> 解決できる問題の可視化、バックキャストイング・自分事としての発想	<input checked="" type="checkbox"/> 自身の体験から考え出した独自性、課題解決への情熱	<input checked="" type="checkbox"/> 自分たちの研究・開発実績、メンバーが具体的に取り組んだ部分の明確化

●「女性が活躍できる社会実現に向けた提案」については、「SDGsへの理解」での加点対象とします。
●技術開発の実証段階にない提案も可能ですが、既存で行っている自身の研究・学習をどのように役立てるかを説明してください。
●本選では、上記の審査項目に加え「プレゼンテーション(多くの人に対して分かりやすい発表になっているか、自分たちの想いを伝えられているか)」が審査対象となります。

◆ 審査委員

横田 浩一氏 (社)アンカー共同代表理事、慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授
斎藤 明日美氏 特定非営利活動法人Waffle理事長
藤田 大悟氏 (株)リバネス製造開発事業部部長
大島 まり氏 東京大学大学院情報学環/生産技術研究所教授 次世代育成オフィス室長 他

◆ 表彰

最優秀賞1チーム:賞状・盾・副賞(ギフト券10万円相当)、優秀賞2チーム:賞状・盾・副賞(ギフト券5万円相当)、その他、協賛企業からの賞・副賞を予定。 ※本選に進出した全てのチームにその証として「認定証」を授与します